



総研大ニューズレター

第36号 2011.5 発行

●目次

【今月のトピックス】	「平成23年度入学式を挙	総務課」
	「特別展『ウメサオタダ才展』の紹介	国立民族学博物館」
	「平成23年度（前学期）学生セミナー	
	『DNA（Discover Network Announce）』を開催	学融合推進センター」
	「平成23年度（第2回）学長賞ポスター発表会及び授与式を開催	学務課」
	「総研大担当教員が平成23年度科学技術分野の	
	文部科学大臣表彰を受けました	総務課」

【各種募集】

【イベント情報】

主なイベント予定

5月21日	生命共生体進化学専攻 入試説明会
5月21日、28日	天文科学専攻 入試ガイダンス
5月27日	核融合科学専攻 入試説明会
5月28日	分子研オープンキャンパス2011
5月28日	遺伝学専攻 大学院説明会
6月2日	情報学専攻 入試説明会
6月2日～3日	国立情報学研究所オープンハウス
6月10日～11日	生命共生体進化学専攻 オープンキャンパス
6月11日	基礎生物学専攻 第2回大学院説明会
6月25日	サイエンスカフェ（湘南国際村センター）

【今月のトピックス】

●平成23年度入学式を挙

平成23年4月7日（木）に葉山キャンパス2階講堂において平成23年度入学式が行われました。天候に恵まれ暖かい春の陽気の中、入学者84名中、65名が参加しました。開式の辞、役職員の紹介に続いて、入学者の名前が一人ずつ読み上げられ入学が許可されました。高畑学長より式辞があり、出席者は緊張した面持ちで聞き入っていました。



【文責：総務課】

● 特別展『ウメサオタダオ展』の紹介

3・11の大地震を契機に、いつ終わるとも知れない危険が続いている。亡くなった方がたのご冥福を祈り、被災した地域の復興に努めるとともに、それだけではすまない事態が人心にかげりをあたえている。福島第一原子力発電所の事故処理が終らないからである。けれども、ここでひるむことはゆるされない。世界中に対して申し開きのできない事態にいたらしめた以上、わたしたちはいま未来の地球への加害者となっている。わたしたちこそは、世界に先駆けて、文明のありようそのものを考え直すという使命をおびているはずだ。

そんな時節がら、マスメディアでは、博物館の展示のことなど取り上げようとしない。取材こそすれ、事態が終息したら放映するといった、さきのばしが繰り返される。けれども、実はこんなときだからこそ、故・梅棹忠夫の軌跡をたどることは市民にとって意義深い。なぜなら、彼は、輸入された学問の翻訳ではなく、みずからの経験にもとづいて考察し、市民のために情報産業論を説き、比較文明論を創造したからだ。未来へのイマジネーションをかきたてた男の生涯を読み解くことは、私たち自身の未来構築力をやしなうすべとなるだろう。学問の先端を開こうとする若人にとっても、余生の意義を深めようとする老人にとっても、「未来へのイマジネーション」は等しく必要なことである。

国立民族学博物館の創設に尽力し、初代館長をつとめた梅棹忠夫は、2010年7月3日、老衰のため90歳で逝去した。ただちに、特別展のための実行委員会が組織され、彼ののこした資料にもとづいて展示が企画された。「梅棹アーカイブズ」とよばれる資料群には、写真約3万5千点、著作物約7000点、フィールド・ノート約150冊、スケッチ約200点、ファイル約1万点、カード無数のものがある。それらの中から、写真約800点、著作物約100点、ファイル約100点ほどが、今回はじめて公開された。

『知的生産の技術』（1969年）で、梅棹はひらめきを宇宙線にととえて、見えない宇宙線を可視化する「ウィルソンの霧箱」のように書き付けるのが「発見の手帳」であると紹介している。よく知られている話だが、彼が実際にどのようなノートに何を書きつけてきたのかが知られてきたわけではない。本展示では、さまざまな彼の書き付けの実物をみることができる。



たとえば、12歳のときの「^{せんよくき}空峪記」と題する山歩きの記録。二ヶ月で二冊が消費されるほど綿密な記録がある。22歳のときのまさに「発見の手帳」は、「学問は広大である」と始まり、途中でエスペラント語の単語をイラスト入りで書き付けている。20代の「原稿のノート」には原稿料のお小遣い帳のようでもあり、30代の「建築日記」には日々の大作業が記されている。記録と整理をめぐって日々訓練が繰り返されてきたのである。そうした鍛錬があればこそ、パキスタンからバングラデシュへの横断の旅日記から「文明の生態史観」が生まれた。旅から思想が生まれることを納得させるような、展示空間が、あたかも彼の脳内を探検するかのごとく、広がっている。百聞は一見にしかず。この結構を見ることなく、知的生産を語ることなかれ。



【文責：地域文化学専攻 教授 小長谷有紀】

● 平成 23 年度(前学期)学生セミナー『DNA (Discover Network Announce)』を開催

＜日程＞2011 年(平成 23 年) 4 月 7 日 (木) ～8 日 (金)

＜開催場所＞葉山キャンパス

＜参加者数＞学生 84 名、教員 34 名、講演者 2 名 計 120 名

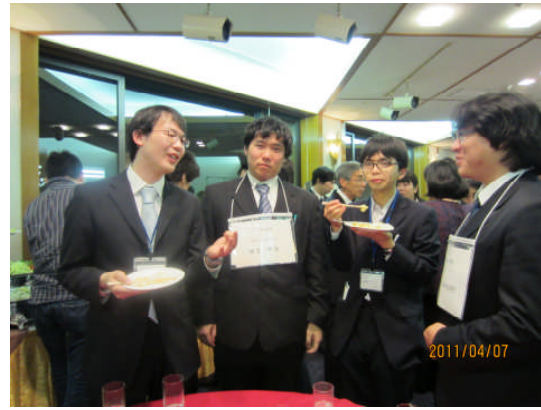
未曾有の大震災の後、一時平成 23 年度前学期学生セミナーの開催中止も検討されましたが、学生セミナー実行委員会メンバーの熱意と、学生セミナー抜きに総研大生としてのスタートを切らせるわけにはいかない、という大学側の固い意志で、開催することになりました。

本年度は DNA (Discover, Network, Announce) をテーマに、3 つのセッションを実施しました。

最初に学生セミナーのオープニングを飾ったのは、Discover セッションです。専攻を超えて、学生同士知り合いを作ってもらおうという趣旨の下、「面白い人 Discover」というワークショップを行いました。ランダムに配置された席に着くと、ゼッケンが渡されます。そこに、「研究者となることに決めたターニングポイント」と「これから先どんな研究者になりたいか」を記入していきます。その後、班員同士でそのゼッケンに記入されたことを手掛かりに、研究の話や、入学のきっかけを話し合っていきます。席替えを繰り返し、多くの学生と知り合いになっていきます。このセッションは、まず学生同士が互いに知り合う、きっかけになったようです。



次に、**Network** のセッションでは、自分の夢につなげるためのネットワークについて考えるセッションです。まず、自分の夢につながるネットワーク図を描かせ、その後、ものづくり大学の土居浩先生と東京大学の横山広美先生にキャリアにつながるネットワークについて、話していただきました。夢実現のために、多くの人と出会い、学び、つながっていった過程を、時にユーモラスに話していただきました。その後、自分たちのネットワーク図を見返しながら、総研大の全学教育担当の先生方とフリーディスカッションを行いました。



2日目のセッションは、**Announce**。自分たちの研究を他者にどう伝えるか、まず各班にお題が与えられます（例：家族を説得するための研究紹介、サイエンスカフェでのつかみの5分間など）。それぞれが、自分たちのお題にあったターゲットに対しての説明の仕方を考えます。班員の中で、一人の研究をピックアップし、その研究を伝える工夫を班員全員で考えていきます。その後、班ごとに自分たちの研究プレゼンを発表していきます。コント形式で発表する班や図を使ってプレゼンをする班など、様々です。会場は大いに盛り上がり、平成23年度前期学生セミナーは盛況のうちに終了しました。

1泊2日の短い期間ですが、新入生は多くの総研大の仲間を見つけ、研究者になるためのヒントを見つけることができたのではないのでしょうか。大きな災害に見舞われた日本、それを復興させていくのは未来の研究者である君たちだ、と講演者の一人の横山先生は語っておられました。その言葉を胸に、今後総研大で未来に羽ばたく翼を育てていってほしいと思いました。



【文責：学融合推進センター 助教 奥本素子】

● 平成23年度（第2回）学長賞ポスター発表会及び授与式開催

平成23年4月6日（水）平成23年度（第2回）学長賞ポスター発表会が開催されました。候補者がそれぞれの分野で研究している学位研究課題を発表するとともに、活発な質疑応答が行われました。また、平成23年4月7日（木）入学式時に最終候補者10名の学生全員に学長賞が贈られました。



受賞者一覧

- 金 セツピョル （文化科学研究科 比較文化学専攻）
学位研究課題「新しい葬送儀礼の実践における死に対する態度」
- 吉田 小百合 （文化科学研究科 日本文学研究専攻）
学位研究課題「平安時代物語の夢研究」
- Hao Guo （物理科学研究科 構造分子科学専攻）
学位研究課題「Exploring ion-transportation mechanism of halorhodopsin and channelrhodopsin: in situ monitoring by stimulus-induced difference surface-enhanced infrared absorption spectroscopy」
- 富田 賢吾 （物理科学研究科 天文科学専攻）
学位研究課題「現実的輻射磁気流体シミュレーションによる星形成過程の研究」
- 櫛 香奈恵 （物理科学研究科 宇宙科学専攻）
学位研究課題「太陽系外惑星の直接観測に向けたバイナリ瞳マスクコロナグラフの開発」
- 塚原 小百合 （生命科学科 遺伝学専攻）
学位研究課題「転移活性をもつ内在性レトロトランスポゾンのエピジェネティックな制御機構」
- Cui Songkui （生命科学科 基礎生物学専攻）
学位研究課題「Proteomic Identification of Novel Factors Related to Peroxisome Biogenesis」
- 中畑 義久 （生命科学科 生理科学専攻）
学位研究課題 神経伝達物質の変化に伴う神経回路編成機構の解明」
- Wajeaha Aziz （生命科学科 生理科学専攻）
学位研究課題「Structural and molecular mechanisms of long-term memory formation after motor learning in cerebellum.」
- 萬歳 明香 （先導科学研究科 生命共生体進化学専攻）
学位研究課題「病原細菌におけるゲノム進化機構の解明」

【文責：学務課】

● 総研大担当教員が平成23年度科学技術分野の文部科学大臣表彰を受けました

本学の担当教員7名が、平成23年度科学技術分野の文部科学大臣表彰を受けました。

この賞は文部科学省が、科学技術に関する研究開発、理解増進等において顕著な成果を収めた者について、その功績を讃えることにより、科学技術に携わる者の意欲の向上を図り、日本の科学技術水準の向上に寄与することを目的として表彰が行われています。

本学担当教員 受賞者一覧

科学技術賞（研究部門）

- 鶴澤 佳徳 物理科学研究科 天文科学専攻 准教授
業績名「窒化ニオブ系超伝導体によるテラヘルツ検出技術の先駆的研究」
- 田中 実 生命科学研究所 基礎生物学専攻 准教授
業績名「メダカを用いた新たな生殖細胞研究」
- 藤井 理行 複合科学研究科 極域科学専攻 教授
○ 本山 秀明 複合科学研究科 極域科学専攻 教授
業績名「南極氷床深層掘削とアイスコアによる地球規模気候変動の研究」
- 若槻 壮市 高エネルギー加速器科学研究科 物質構造科学専攻 教授
業績名「X線結晶構造解析高度化による蛋白質輸送と翻訳後修飾の研究」

若手科学者賞

- 香月 浩之 物理科学研究科 機能分子科学専攻 助教
業績名「アト秒精度の波束干渉技術を用いた量子状態精密制御の研究」
- 北野 潤 生命科学研究所 遺伝学専攻 准教授
業績名「トゲウオ科魚類における多様性進化の遺伝機構の研究」

【文責：総務課】

【各種募集】 現在公募中の情報

事 項	応募期間	提出先
国立天文台滞在型研究員	随時(滞在希望初日の前月1日まで)	国立天文台研究支援係
平成23年度研究集会(第2回)	第2回の募集締切日: 平成23年6月30日(木) 期限厳守・必着 http://www.nao.ac.jp/Jobs/Job000219.html	国立天文台研究支援係
学融合推進センター 研究論文助成 http://center.soken.ac.jp/act/thesis.html	随時	総合研究大学院大学 総務課葉山事務室

【イベント情報】

● 総研大の行事

5月

日程	時間	行事名	場所
3日(火)	13:00-14:30 15:30-17:30 18:30-20:00	湘南国際村フェスティバル ①講演会 ②サイエンスカフェ ③観望会	葉山キャンパス
21日(土)	14:20-17:00	生命共生体進化学専攻 入試説明会	ホテル東京ガーデンパレス
21日(土)	13:00-16:45	天文科学専攻 入試ガイダンス	メルパルク京都
		http://guas-astronomy.jp/Applicants/nyusi-guidence.html	
27日(金)	13:30-17:00	核融合科学専攻 大学院入試説明会	核融合科学研究所
		http://soken.nifs.ac.jp/	
28日(土)	10:00-18:00	天文科学専攻 入試ガイダンス	国立天文台 三鷹キャンパス
		http://guas-astronomy.jp/Applicants/nyusi-guidence.html	
28日(土)	12:00-17:00	分子研オープンキャンパス 2011	岡崎コンファレンスセンター
		http://www.ims.ac.jp/opencampus/index.html	
28日(土)	13:00-17:30	遺伝学専攻 大学院説明会	国立遺伝学研究所
		http://www.nig.ac.jp/jimu/soken/setumeikai.html	

6月

日程	時間	行事名	場所
2日(木)	17:00-19:00	情報学専攻 入試説明会	学術総合センター 特別会議室
		http://www.nii.ac.jp/openhouse/guidance/	
10(金) -11(土)	14:00~	生命共生体進化学専攻 オープンキャンパス	葉山キャンパス
11日(土)	13:00~	基礎生物学専攻 第2回大学院説明会	ホテル東京ガーデンパレス
		http://www.nibb.ac.jp/graduate/	
25日(土)	14:00-16:00	サイエンスカフェ	湘南国際村センター

7月

日程	時間	行事名	場所
27日(水)	14:00-16:00	第4回中高生のための科学セミナー	横須賀市生涯学習センター
30日(土)	13:00-18:00	生理学研究所 第2回大学院説明会	生理学研究所 (明大寺地区)
		http://www.nips.ac.jp/dnp/daigakuin/	

● 基盤機関の行事

5月

日程	時間	行事名	場所
3月1日(火) -5月29日(日)		企画展示 侯爵家のアルバム -孝充から幸一にいたる木戸家写真資料-	国立歴史民俗博物館
http://www.rekihaku.ac.jp/others/press/p110301.html			
3月3日(木) -6月14日(火)		特別展「ウメサオタダオ展」関連企画展 「民族学者 梅棹忠夫の眼」	国立民族学博物館 企画展示場 A
http://www.minpaku.ac.jp/special/umesao/event.html			
3月10日(木) -6月14日(火)		特別展「ウメサオタダオ展」	国立民族学博物館 特別展示館
http://www.minpaku.ac.jp/special/umesao/			
4月19日(火) -5月8日(日)		くらしの植物苑特別企画「伝統の桜草」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
http://www.rekihaku.ac.jp/events/schedule/index.html#c			
1日(日)	14:30-15:30	特別展「ウメサオタダオ展」関連 みんなくウィークエンド・サロン- 研究者と話 そう 第203回講演「梅棹さんに聞いたこと」	国立民族学博物館
5日(木・祝)	10:00-16:30	MMP あそびの広場 2011 「いっしょにあそぼ！」	国立民族学博物館 本館1階 エントランスホールと前庭
http://www.minpaku.ac.jp/museum/partners/event.html			
5日(木・祝)	13:30-16:15 (開場 13:00)	特別展「ウメサオタダオ展」関連 研究公演 「心に草原を—馬頭琴がひらく、新たな世界」	国立民族学博物館 講堂
http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/performance110505.html			
7日(土)	13:30-15:30	第12回歴博映画の会 「船をめぐる信仰と習俗」	国立歴史民俗博物館
http://www.rekihaku.ac.jp/events/movie/index.html			
8日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン- 研究者と話そう 第204回講演 「梅棹忠夫と大興安嶺探検、そして私」	国立民族学博物館
14日(土)	11:00-12:00	歴博探検「写真は歴史のたからばこ」	国立歴史民俗博物館
http://www.rekihaku.ac.jp/kids/explore.html			
14日(土)	12:00-15:30	MMP「点字教室」	国立民族学博物館 本館1階 エントランスホー ル(無料ゾーン)
http://www.minpaku.ac.jp/museum/partners/event.html			
14日(土)	14:00-16:00	第329回歴博講演会 「日本刀の素材と刀匠の技術」	国立歴史民俗博物館
http://www.rekihaku.ac.jp/events/lecture/index.html			
15日(日)	14:30-15:30	特別展「ウメサオタダオ展」関連 みんなくウィークエンド・サロン- 研究者と話 そう 第205回講演「梅棹忠夫と自前の学問」	国立民族学博物館
21日(土)	13:30-16:30 (開場 12:45)	日文研・地球研合同シンポジウム 「環境問題はなぜ大事か—文化から見た環境 と環境から見た文化—」	国際日本文化研究センター 内講堂(日文研ホール)

	http://www.nichibun.ac.jp/event/tokubetsu.html		
21日(土)	13:30-15:00 (開場 13:00)	特別展「ウメサオタダオ展」関連 第 396 回みんなぱくゼミナール 「青年ウメサオタダオの学問形成」	国立民族学博物館 講堂
	http://www.minpaku.ac.jp/special/umesao/event.html		
22日(日)	14:30-15:30	特別展「ウメサオタダオ展」関連 みんなぱくウィークエンド・サロン- 研究者と話そう 第 206 回講演「梅棹忠夫とイスラーム世界」	国立民族学博物館
28日(土)	13:30-15:30	第 146 回くらしの植物苑観察会 「関東平野の里山の生い立ち」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
	http://www.rekihaku.ac.jp/events/schedule/index.html#c		
28日(土)	13:30-16:30 (開場 13:00)	みんなぱく映画会/みんなぱくワールドシネマ 「海を飛ぶ夢」	国立民族学博物館 講堂
28日(土)	14:00 より随時 受付 13:30 より	4D2U ドームシアター公開	国立天文台(三鷹)
	http://www.nao.ac.jp/cgi-bin/about/mtk/4d2u/entry.cgi		
29日(日)	14:30-15:30	特別展「ウメサオタダオ展」関連 みんなぱくウィークエンド・サロン- 研究者と話そう 第 207 回講演 「梅棹忠夫先生が登った白頭山」	国立民族学博物館

6月

日程	時間	行事名	場所
2日(木) -3日(金)	2日(木) 13:30-20:30 3日(金) 10:30-17:00	平成 23 年度 国立情報学研究所オープンハ ウス(一般公開)	学術総合センター 一橋記念講堂など
	http://www.nii.ac.jp/openhouse/		
5日(日)	10:00-16:30	公開ワークショップ・パフォーマンス 表現で出会う・表現でつながる「インド刺繍～ 思いと出会う・願いでつながる～」	国立民族学博物館
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/110605.html		
5日(日)	14:30-15:30	特別展「ウメサオタダオ展」関連 みんなぱくウィークエンド・サロン- 研究者と話そう 第 208 回講演 「梅棹さんと私—出会いから民博草創期まで」	国立民族学博物館
11日(土)	14:00-16:00	第 330 回歴博講演会「保護地域(世界自然遺 産、国立公園)と民俗」	国立歴史民俗博物館
18日(土)	13:30-15:00 (開場 13:00)	第 397 回みんなぱくゼミナール 「布・人・技、そして環境」	国立民族学博物館 講堂
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/seminar11.html		
19日(日)	14:30-15:30	「どっぷりオセアニア—夏のみんぱくフォーラ ム 2011」関連 みんなぱくウィークエンド・サロン- 研究者と話そう 第 209 回講演「クラ交易の 記憶をとどめる歴史資料」	国立民族学博物館

6月19日(日) -8月21日(日)		「どっぷりオセアニア—夏のみんぱくフォーラム 2011」	国立民族学博物館
http://www.minpaku.ac.jp/			
25日(土)	13:30-15:30	第147回くらしの植物苑観察会 「くらしの中の植物」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
http://www.rekihaku.ac.jp/events/schedule/index.html#c			
26日(日)	10:30-16:30	音楽の祭日 2011 in みんなく	国立民族学博物館 特別展示館 1階等
http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/fetedelamusique11/index.html			

7月

日程	時間	行事名	場所
3日(日)	14:30-15:30	「どっぷりオセアニア—夏のみんぱくフォーラム 2011」関連 みんなくウィークエンド・サロン- 研究者と話そう 第210回講演「ココヤシとオセアニアの暮らし」	国立民族学博物館
9日(土)	13:30-16:00	「どっぷりオセアニア—夏のみんぱくフォーラム 2011」関連 みんなく映画会/みんなくワールドシネマ「裸足の1500マイル」	国立民族学博物館 講堂
9日(土)	14:00-16:00	第331回歴博講演会 「考古学から見た古代の日韓交流」	国立歴史民俗博物館
9日(土)	15:30-17:20	核融合科学研究所 市民学術講演会	セラミックパーク MINO 1階 国際会議場
10日(日)	14:30-15:30	「どっぷりオセアニア—夏のみんぱくフォーラム 2011」関連 みんなくウィークエンド・サロン- 研究者と話そう 第211回講演「海の民と船」	国立民族学博物館
16日(土)	13:30-15:00 (開場 13:00)	「どっぷりオセアニア—夏のみんぱくフォーラム 2011」関連 第398回みんなくゼミナール「オセアニア人類の移動-島嶼(とうしょ)環境を住みこなす」	国立民族学博物館 講堂
http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/seminar11.html			
17日(日)	14:30-15:30	「どっぷりオセアニア—夏のみんぱくフォーラム 2011」関連 みんなくウィークエンド・サロン- 研究者と話そう 第212回講演「南太平洋の宣教師」	国立民族学博物館
23日(土)		「どっぷりオセアニア—夏のみんぱくフォーラム 2011」関連 研究公演「フラを知る、フラを踊る」	国立民族学博物館
23日(土)	13:30-15:30	第148回くらしの植物苑観察会「白山麓作り小屋の植物」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
http://www.rekihaku.ac.jp/events/schedule/index.html#c			

24日(日)	14:30-15:30	「どっぷりオセアニア―夏のみんぱくフォーラム 2011」関連 みんぱくウィークエンド・サロン- 研究者と話そう 第 213 回講演 オーストラリア・アボリジニの世界	国立民族学博物館
7月26日(火) -9月4日(日)		企画展示 紅板締め ―江戸から明治のランジェリー―	国立歴史民俗博物館
30日(土)		国際シンポジウム「アジア・太平洋地域諸言語の歴史研究の方法-日本語の起源は解明できるのか-」	国立民族学博物館 講堂
30日(土) -31日(日)		「どっぷりオセアニア―夏のみんぱくフォーラム 2011」関連 研究公演「カヴァ儀礼と天地創造のドラマ」	30日: エントランスホール 31日: 国立民族学博物館 講堂
31日(日)	11:00-12:00	「どっぷりオセアニア―夏のみんぱくフォーラム 2011」関連 みんぱくウィークエンド・サロン- 研究者と話そう 第 214 回講演「オセアニアの天地創造とドラマ」	国立民族学博物館

【教員の受賞情報等】

高エネルギー加速器科学研究科

素粒子原子核専攻

- 宇野彰二 准教授
高エネルギー加速器科学奨励会 小柴賞 受賞

複合科学研究科

極域科学専攻

- 金尾政紀 准教授(地圏研究グループ)
National Science Foundation; NSF
Antarctic Service Medal of the United States of America 受賞

情報科学専攻

- 越前 功 准教授
情報処理学会 平成22年度長尾真記念特別賞 受賞
- 高須淳宏 教授
IADIS International Conference Information Systems 2011
Best Applied Research 受賞

【編集後記】

総研大ニューズレター第 36 号をお届けします。

風薫る新緑の季節となりましたが、東日本大震災後の電力不足による節電への取組として、先月は首都圏の多くの電車が暖房を止めて運行されました。時折冬が戻ってきたかのような寒い朝には、厚手のコートを着て通勤していた人が例年になく多かったように感じられました。

さて、今月号では平成 23 年度入学式並びに同日に開催された第 2 回学長賞のポスター発表会及び授与式などの模様が掲載されております。震災による交通機関、その他への影響も懸念されましたが各行事が無事に終了することができてほっとしております。

また、4 月 27 日には、学融合推進センター棟の竣工・供用に伴う開所式が開催され、翌日の 28 日には前日に引き続き科学映画上映会が行われました。詳細はおって次号に掲載したいと思いません。

◎各専攻で教員や学生がメディアに出演が決まっている場合や、発表や表彰等があった際にはご連絡ください。またメディア等に出演される場合は、可能な限り「総合研究大学院大学」と表記していただけますようご協力お願いします。

発行 2011 年 5 月 11 日

編集



国立大学法人
総合研究大学院大学
THE GRADUATE UNIVERSITY FOR ADVANCED STUDIES

広報委員会

神奈川県三浦郡葉山町（湘南国際村）

総務課広報係（担当）

TEL 046-858-1590/FAX 046-858-1542

E-mail: kouhou@ml.soken.ac.jp

©2011 SOKENDAI